

# 驚異の韓流打楽 サムルノリ

## Samulnoli

チンは風、プクは雲、ケンガリは雷、  
チャンゴは雨を象徴し、  
奏でられる楽曲は  
天地・宇宙を表現するという。



チン

チャンゴ

ケンガリ

プク

### 湖南右道クツ (ホナムウドクツ)

右道クツとは、全羅道の西部地方の農楽のことである。全羅道の農楽が南北の特徴よりも、東西の地域性が著しく、東部地方の農楽は左道(チャド)農楽または、左道クツと呼ばれ、右道農楽または、右道クツに対立している。また嶺南農楽と比べて地形の状況が緩やかなため女性らしいと表現できる。

### 嶺南農楽 (ヨンナムノンアク)

朝鮮半島の東南部の慶尚南北地方を古来、嶺南と呼んでおり、この地方の農楽の演奏である。12種の長短(チャンダン)で演奏されており十二(シビ)チャプンムルとも言われる。右道クツと比べると男性らしいと表現できる。激しい動きも特徴である。

### ウツタリ風物 (ウツタリブンムル)

京畿地方の農楽は、男寺党(ナムサダン)の農楽だったといえる。1拍を2分割したり、3分割したりするばかりでなく、5拍子や6拍子の交代や即興演奏が加えられる。ソウルに近いことから文化交流が盛んな地域となりブンムルにも影響した。右道クツやヨンナムノンアクが混ざっていき、中性的な音楽ともいわれる。

韓国の農村に古くから伝わる農楽をもとに、一九七〇年代末に生まれた現代音楽サムルノリ。ケンガリ(鉦)、チン(銅鑼)、プク(丸型両面太鼓)、チャンゴ(鼓型両面太鼓)の4つの打楽器が生み出す驚異のパーカッション音楽は、今や韓国を代表する芸術である。サムルノリとは「4つの」(サムル)「遊び」(ノリ)という意味。

### ■演奏 李昌燮牌サムルノリ (リチャンソプベサムルノリ)

李昌燮 安部真由美 内田恭介  
後藤由紀 野口侑子 谷中謙一

1996年、李昌燮はサムルノリ創立メンバーである李光壽先生に師事し、李光壽民族音楽院団員として韓国国内外で様々な公演に出演を経てサムルノリを修得する。出演メンバーは早稲田大学サムルノリサークル「シナウィ」の卒業生によって結成されたチーム。サムルノリに魅せられ、卒業後も演奏を続けていたメンバーが、2011年正式にチームを結成。2008年世界サムルノリ競技大会(韓国扶余郡)出場。



李昌燮 (リチャンソプ) サムルノリ創立メンバーである李光壽先生に師事。1996年、李光壽民族音楽院団員として韓国国内外で様々な公演に出演する。2001年に東京に拠点を移し、舞台、音楽製作、ワークショップの3本柱を中心に自らのサムルノリを探究。2006年1stアルバム「Changseop Lee VS ...」をリリース。2008年DVD「Changseop Lee VS ...」をリリース。2005年単独LIVE「玉響」「天と地のあわび〜おわりなきはじまり〜」を開催。2007-08年「Changseop Lee VS ... おわりなきはじまり第2章」LIVEツアーを開催。東京や広島、浜松市楽器博物館ほか日本各地でチャンゴやケンガリ、サムルノリのワークショップを行っている。

2012. 2/18 (土) 2:00pm  
アクトシティ浜松音楽工房ホール

一般 2000円  
学生 1000円  
自由席  
未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売 12/18 楽器博物館、アクトシティチケットセンターにて。電話予約は楽器博物館へどうぞ。  
【主催】浜松市楽器博物館 (財)浜松市文化振興財団  
【問合せ】浜松市楽器博物館 TEL: 053-451-1128  
メール: wakuwaku@gakkihak.jp  
ホームページ: http://www.gakkihak.jp